



第3回

ユニセフ・ラブウォーク



～お父さん・お母さん、お友だちと一緒に参加しませんか！
盛岡城跡公園から清流中津川遊歩道の散策～

in いわて



子どもの笑顔は地球の未来!

～届けよう、子どもが笑顔になれる支援～



から被害で生きられない子どもたち、年間690万人
が学ばずにいる子どもたち、6300万人

日時 **2013年 5月19日(日)**

日時 盛岡城跡公園広場 (スタート・ゴール)

- ★受付開始 午前8時30分 (雨天決行)
- ★出発式 9時15分
- ★スタート 10km…9時30分
5km…9時45分

参加費 大人……………**500円**
子ども(18歳未満)…**200円**
(ユニセフ募金、保険の費用を含む)

参加定員 **300名** 事前申込み **4月22日(月)～**

シリア緊急募金受付中

2013年3月15日で3年目に突入したシリア内戦。シリア国内の難民の数は約200万人。周辺国へ避難を余儀なくされた人々は100万人に上っています。

ユニセフは、シリア国内とシリアからの避難民を受け入れている周辺国において、人道支援を拡大。厳しい冬を乗り切るための防寒具の配布や、感染症を予防するための予防接種、衛生環境を保つための衛生用品の配布、トイレの設置、安全な飲料水の提供などに加え、子どもたちへの心のケアや教育の支援も行っています。

お申し込みは 住所・氏名・年齢・コースを明記の上、TEL・FAX・Eメールいずれかでお申し込み下さい。(電話の場合: 月～金 10時～16時) **当日受付可**

ユニセフ in アフリカ

2013年6月1～3日に横浜で開催される「第5回アフリカ開発会議 (TICAD V)」に合わせて、「アフリカのことを学ぶ日」キャンペーン推進しています。

アフリカに関して学ぶことは気候変動や人口爆発の問題など多くの難問を抱える現代において、国際理解や協力の心を育む力となり、日本の国際貢献に大きな役割を果たすものと考えられます。



2013年度ユニセフ東日本大震災支援活動

子どもたちにやさしい復興をめざして

ありがとうございます! 宮古市立田老第一小学校

大震災後3年目の新たな歩みを始めた田老第一小学校から、メッセージリーフレットが届きました。3月11日、全校集会での児童会長あいさつをご紹介します。

「震災で学んだこと」

2年前の今日の日を、僕は忘れることができません。あの日、これまでに経験したことのない巨大地震と大津波が田老の町を襲いました。一瞬にして変わってしまった田老の街並みを前に、ただぼう然とするばかりでした。たくさんの方々の尊い命が奪われ、大切な家を失った人も多くいました。電気や水道が止まり、それまで当たり前と思っていた生活は、実はとてもありがたいことだったのだと、強く感じました。

大地震でなくしたものは数えきれないけれど、あの震災から学んだことや気づかされたこともたくさんありました。常日ごろから災害に備え、対策や準備をしておくこと、みんなの防災意識を高めること、そして、助け合うこと、感謝すること。日本全国だけでなく、海外からもたくさんの支援をいただいていることに、本当に感謝しています。つらく、悲しい出来事ではあつたけれど、震災から学んだことをこれからの生活に活かし、前を向いて進んでいかなければなりません。みんなで助け合いながら、力を合わせ前進していきましょう。



合唱でお礼を

4月11日ユニセフハウス



photo: 日本ユニセフ協会提供

「入学式の日、小学校の頃からの友達と、他の小学校から来た友達が学校に集まりました。そして、もう一ついっぱいだったものがありました。それは、ユニセフから支援された文房具です。一人ひとりの机の上いっぱいありました。その時、心配だった気持ちがいきなくなり、これから一生懸命がんばろうと思いました。ユニセフからは、一回だけでなく何回も何回も支援をいただき、今私たちは学校生活を楽しく送ることができています。」

修学旅行で ユニセフハウス訪問 大船渡市立赤崎中学校

大槌町のキッズコーラスあぐどまめ



キャラホール 少年少女合唱団 コンサート

2月11日キャラホール

未来に向かって、かわいい子どもたちと!

キャラホール少年少女合唱団のみなさんに会ってから、もっともっとうまくなりたいと言った子どもたちの輝いた目を忘れることはできません。

今回のコンサートでも、子ども達の一生懸命な姿を見てまががんばろう!と思えました。大槌童謡を歌う会のみなさんは子ども達を見守り続けてくださっています。あの日からもうすぐ2年がとうとうとしています。震災後の春、荒れた地に青々とした草が生えてきたのを見て、生きているんだ、強く生きていかなきゃと実感しました。昨年の春は河川敷にたくさんの菜の花が咲き、子ども達とおぼろ月夜を歌ったことを思い出します。もうすぐ春がきます。あの日の記憶がよみがえり辛くなることもありますが、未来をもったかわいい子ども達と一緒にいるといつしか忘れてしまいます。

私たちが気にかけて、応援して下さる方がいる事を胸にこれからも子ども達とがんばっていきます。本当に、本当に、ありがとうございます。

キッズコーラスあぐどまめ代表 児玉 奈佳

こんな教室あったらいいな! (3月22日)

日本ユニセフ協会が山形大学、竹中工務店と連携し、子どもの復興参画に向けた活動として、「未来の教室を考えよう」と、現在仮設校舎を使用している小学校5年生(大槌小学校、安渡小学校、赤浜小学校、大槌北小学校)の5年生児童90名が参加したワークショップを昨年10~11月、3回開催しました。

3月22日、大槌町教育委員会事務局学務課西田昭彦技師を訪問し、プランづくりに参加してほしいと要請しました。同日、岩手県復興局にも報告・復興提言しました。



災害後の未就学児の心理的支援のサポート研修に参加して (3月24日)

沿岸支援スタッフ 富士 久美子

東日本大震災後の未就学児の実際と理論を学ぶために参加させていただきました。専門的な脳の話はむずかしいところもありました。大きな災害のつらい体験が子どもの未発達な脳にどんな影響があるのか?身近な大人が子どもを正しく理解し、接することが大切であること。子どもにとって遊びは自分を表現するもので、遊びはおもしろい~おもしろいから繰り返す~おとなが参加することによって、その遊びが成立することがわかり、そのためにもおとな自身も安定することが大切だと思いました。

私自身、被災地において生きた者としての自分の課題だと、ただただ走りつづけてきました。亡くなった人、家を失った人など大変な人達を身近に「その方達のことを想えば...」と自分を顧みない活動をしてきましたが、今回の研修で気づかされ、助けられました。被災地では、今支援する側の人達が疲れている状況があり、今後おとなワークを多くの人達に届けたいと心に期する研修となりました。



▲2年レポート



▲岩手県保育所避難状況記録

東日本震災支援 1年レポート2年レポート 岩手県保育所避難状況をご希望の方は、 岩手県ユニセフ協会までご連絡ください。

継続して
すすめて
います

心理社会的支援（心のケア）

CAP研修(子どもへの暴力防止プログラム)、プレイセラピー研修

子どもの保護

家庭におけるリスクの発見と対応に関する研修など子どもにやさしい復興まちづくり

子どもにやさしい復興まちづくり

「東日本大震災緊急募金」の受付

2013年3月31日で終了

ユニセフ本部がほぼ半世紀ぶりに日本の子どもたちの支援を表明し、日本国内の支援活動を日本ユニセフ協会に委託し、2年が経過しました。

震災直後、世界中の緊急支援の現場から被災地入りしたユニセフ日本人職員は12名、多くのパートナー団体・企業のみなさまのご協力を得て、飲料水や衣料などの物資の配布や母子保健サービスや学校再開の支援など、ユニセフが数十年にわたって蓄積してきた知見が、開発途上国と先進国という舞台の違いを乗り越え、私たちの目の前で次々に活かされていったのが、つい昨日の出来事のように思い出されます。

この時期に気づかされたことは、就学児に比べ、未就学児の保育や教育、学童保育などの分野での支援が遅れていたことです。保育園・幼稚園などを訪問し、個別のニーズに応じた物資の提供、汚泥にまみれた園舎の清掃、仮設園舎建設などの支援をしてきました。

今、被災地の復興は国や自治体によるさまざまな取り組みを通して本格化しています。支援の最前線で市民団体はじめ、地元の方々がその主な担い手となられて既に久しい状況です。

日本ユニセフ協会は、今後も「心理社会的支援(心のケア)」、「子どもの保護支援」、および「子どもの参画による復興計画づくり支援」の3分野を中心に活動を継続していきます。

このような支援活動は、これまでにお寄せいただいた募金でほぼまかなえる見込みとなりました。

みなさまから、多大なご協力をいただき本当にありがとうございました。



▲2013年1月31日 岩手大学教育学部社会教育科
子どもの権利条約、ワークショツプ



県ユニセフ 協会来訪

▲2013年1月25日、
岩大附属中学校1年生来訪



ユニセフ 出前講座

◀2013年2月1日、
軽米町立笹渡小学校、
社会科の授業



花巻友の会 活動

▲1月26～27日
「国際フェェィン(はなまき)
活動紹介
2月20日▶
「ユニセフ花巻のつどい」



ユニセフ写真パネル展

『貧しくも明日に向かって生きる国』

～アグネス・チャン大使が見た
”幸せの国”ブータンの素顔と幸せの源～

2013年3月1日～3日、盛岡市プラザおでって 3月5日～11日、花巻市妙円寺で開催。400名のご来場をいただきました。

「幸せの国」ブータンから見てきたものは・・・、「ブータンは「幸せの国」というイメージでしたが、かなり貧しい国であることを知りました。ただ、心の豊かさは日本にはない素晴らしいものであると感じた。一度行ってみたい!」

「のどかそうですね。なつかしい昔の日本の風景に似ていました。教育や衛生の改善にユニセフが役立っている様子が伺えてよかったです。」

盛岡会場では、2010年6月、ユニセフ・ブータンスタディツアーに参加したいわて生協ユニセフ委員長梅澤明美さんの報告があり、来場者との意見交換も行われました。



▲お母さんから説明をきく子どもたち



花巻友の会設立25年記念 ユニセフ平和チャリティコンサート

- 日 時…2013年7月28日(日) 14:00~16:30
- 会 場…花巻市文化会館 大ホール
- 出 演…コーラス四つ葉・響流はなまき・春日流鍋倉鹿踊り
特別出演 不来方高等学校・音楽部
- 入場料…500円

入場券は花巻友の会まで

第12回 いわてユニセフのつどい

東日本大震災・私たちは忘れない・・・

- 日 時…2013年9月28日(土) 10:00~12:45
- 会 場…プラザおでって ホール (盛岡市中ノ橋通1-1-10)
- 内 容…東日本大震災から2年半、あの時の保育園は、学校は、…
 - 大槌町の子どもたちを見守りつづける保育園の園長さんや子どもたちの心のケアの臨床心理士のミニトーク
 - 石巻市大川小学校を中心に描いたドキュメンタリー映画「大震災のあとに」。「私たちは忘れない、忘れてはいけない」是非足をお運びください。
- 入場料…大人500円 高校生以下無料



▲大槌保育園



▲みどり幼稚園

賛助会員として世界の子どもたちを応援してください



ユニセフ日本委員会として、日本国内での募金活動、広報およびアドボカシー(政策提言)活動を担う日本ユニセフ協会を、年会費によってご支援いただく方法です。会員登録をいただき、日本ユニセフ協会の機関誌やさまざまなユニセフの資料を通して、世界の子どもたちのおかれている状況について理解を深めてみませんか。国内で行われるユニセフ協力活動の情報を人手し、さまざまなイベントにご参加ください。

賛助会員の種類・会費・会員期間

種類	対象	賛助会員	賛助会費	賛助会員期間
①一般賛助会員	個人の方	1口	5,000円 <small>※1口以上、何口でもご協力がいただけます</small>	入会月~1年間
②学生賛助会員	18歳以上の学生の方	1口	2,000円	入会月~1年間
③団体賛助会員	団体、法人、企業	1口	100,000円	毎年4月~翌年3月までの1年間

ユニセフカード・ギフトの頒布

ユニセフ・カード&ギフトは各イベント会場、県協会事務所でもご利用いただけます。

価格の約50%はユニセフ募金となります。



空の青さは
我々の色
マリンドールと
言う人もいる
海の青さは
朝明けの日に
真っ赤に燃える
時もある
けれども空の青さはいつでも同じ
時には黄砂を抱いて
地上の煙霧に隠れる
こともある
けれども地上の色が変わっても
空はいつでも青の
この一色でいつも
地球を彩りたい
子どもの好きな
太陽の色が良く似合う
青い光で人の心を照らしたい

あ
と
が
き

向井田 郁子作

第1回理事会・評議員会報告 2013年3月27日

盛岡市プラザおでってで「2013年度 第1回理事会・評議員会」を開催しました。理事・監事・評議員33名の出席をえて、「2012年度事業と決算・監査報告の件」、「2013年度事業計画の件」、「岩手県ユニセフ協会役員に関する件」の3議案を審議し提案どおり承認・決定しました。



いわて生協・岩手県学校生協2012年度ユニセフ募金贈呈



理事会の冒頭で、いわて生活協同組合(理事長飯塚昭彦)と岩手県学校生活協同組合(理事長豊巻浩也)の2012年度募金贈呈が行われました。いわて生活協同組合常務理事反町久美さん、岩手県学校生活協同組合管理課係長晴山由記子さんから、「世界の子どもたちのために使ってほしい」と三浦宏会長に目録を渡しました。組合員・児童会・生徒会のユニセフ募金総額は、以下のとおりです。

いわて生活協同組合 220万4389円
岩手県学校生活協同組合 191万4100円

岩手県ユニセフ協会役員

2013年3月27日現在
(敬称略・50音順)

役 職	お 名 前	役 職 名
顧 問	達 増 拓 也	岩手県知事
	村 田 源 一	(株)岩手日報社相談役
会 長	三 浦 宏	(株)岩手日報社代表取締役社長
副 会 長	加 藤 善 正	岩手県生活協同組合連合会会長理事
	加 藤 井 克 己	岩手大学学長
専 務 理 事	内 澤 祥 子	いわて生活協同組合副理事長
常 務 理 事	安 藤 厚 美	元岩手県教育委員長
	反 町 久 美	いわて生活協同組合常務理事
	高 橋 克 美	岩手県学校生活協同組合専務理事
	林 正 文	岩手県ユニセフ協会花巻友の会会長
	向 井 田 郁 子	盛岡消費者友の会
	守 谷 志 志	岩手県青年海外協力隊を育てる会理事
理 事	石 川 祐 成	(株)岩手県医師会会長
	稲 葉 暉 暉	岩手県町村会会長
	及 川 公 彰	NPO法人岩手県地域婦人団体協議会会長
	小 金 谷 茂	岩手医科大学理事
	鎌 田 英 樹	(株)岩手県PTA連合会会長
	佐 藤 滋 一	(株)IBC岩手放送代表取締役社長
	柴 崎 樹 恵	(株)岩手めんこいテレビ代表取締役社長
	瀬 川 玲 子	もりおか女性の会会長
	高 橋 清 裕	岩手県ユニセフ協会花巻友の会理事
	富 谷 藤 治	岩手県中学校長会常任理事
	富 豊 健 治	岩手県市長会会長
	榎 崎 憲 弘	(株)岩手朝日テレビ代表取締役社長
	長 谷 川 泰 二	岩手県教職員組合中央執行委員長
	増 子 義 孝	(株)テレビ岩手代表取締役社長
	道 脇 清 文	立正佼成会盛岡教会会長
	宮 澤 啓 祐	岩手県立大学名誉教授
	横 沢 辰 雄	NHK盛岡放送局局長
	秋 山 信 勝	宮沢賢治記念会理事長・花巻商工会議所会頭
監 事	伊 藤 慶 治	岩手県小学校長会会長
	泉 田 将 治	秋山会計事務所所長
	上 田 高 眞	岩手県消費者団体連絡協議会事務局長
評 議 員	内 宮 眞 子	岩手県青年団体協議会会長
	及 川 サ チ 子	岩手県高等学校教職員組合執行委員長
	大 内 豊 彦	日本ボーイスカウト岩手連盟事務局長
	小 田 島 順 造	岩手県退職女性校長会顧問
	小 野 寺 晶 子	盛岡タイムス社社長
	海 鋒 徹 哉	岩手県私学協会会長
	川 村 宗 博	国際ソロプチミスト盛岡
	桑 島 博 子	(株)日本青年会議所東北地区若手ブロック協議会会長
	小 金 野 耕 治	(株)川徳代表取締役社長
	柴 高 橋 克 彦	(株)岩手県社会福祉協議会会長
	高 橋 和 彦	盛岡ソングクラブ会長
	田 沼 征 彦	岩手県労働組合連合会議長
	千 葉 仁 一	盛岡ライオンズクラブ会長
	智 田 恵 子	作家
	長 坂 由 美 子	岩手県高等学校長協会会長
	平 井 み 子	岩手県農業協同組合中央会会長
	村 田 憲 正	岩手県商工会連合会会長
	八 幡 博 文	岩手県市町村教育委員会協議会教育長部会長
		盛岡パイロットクラブ会長
		いわて生活協同組合理事
		(株)ガールスカウト日本連盟若手県支部支部長
		(株)エフエム岩手代表取締役社長
		日本労働組合総連合会岩手県連合会事務局長